

報道関係各位

2020年11月24日

川島織物セルコンの株式譲渡を決定

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は、子会社である株式会社川島織物セルコン（以下 川島織物セルコン）の現経営陣によるマネジメント・バイアウト（MBO）の申し出を受け、発行済普通株式の 100%を同社に譲渡することを本日決定しましたのでお知らせいたします。この株式譲渡は、2021年1月6日に完了する見込みです。

川島織物セルコンは、創業来 170 年以上にわたって受け継いできた織物技術が強みに、呉服・美術工芸織物やインテリア・室内装飾事業を展開し、確固たる地位を築いてきました。また、同社は、事業の成長スピードや生産・業務効率の追求にも取り組み、競争力の強化を図っています。この度、川島織物セルコンは、ブランドの支えとなっている伝統的な織物技術の継承に加え、次世代に繋がる新たなデザインや商品・技術の開発などへ挑戦していくべく、京都銀行および京都企業成長支援ファンドの支援を受け、現経営陣による MBO を実施します。これにより、同社は LIXIL から独立し、伝統技術の継承とさらなる成長を目指した取り組みを加速していきます。

一方、LIXIL は、事業の効率化や財務体質の強化に向けて、事業ポートフォリオの最適化を図り、基幹事業への注力を進めています。今回の決定は、LIXIL が推進する取り組みにも合致するものです。

LIXIL の社長兼 CEO の瀬戸欣哉は次のようにコメントしています。「この度、川島織物セルコンの現経営陣との間で、株式譲渡について合意に至ることができました。同社は、京都・西陣を発祥とする織物メーカーで、帯や緞帳などの日本の伝統的な織物から、現代の暮らしを支えるインテリアファブリックに至るまで幅広い製品を手がけています。同社は、伝統的な織物技術の継承に力を入れるとともに、先進のデザイン・技術を取り入れることで、新たな価値提供とさらなる成長を目指しており、LIXIL は、株式譲渡を通じて、同社の戦略推進を支援いたします。また、この株式譲渡は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に貢献するため、財務体質を強化し、組織の簡素化と基幹事業への注力により、さらなるシナジーの創出を目指す LIXIL の戦略にも合致するものです」